

# NRU-east

National Railway Workers' Union

No.832 2020年  
10月23日

国鉄労働組合東日本本部  
港区新橋5-15-5 交通ビル7F  
発行責任者 大沼 元  
編集責任者 常盤 達雄

職場の悩み  
相談出来る雰囲気作り、  
あとは一言  
「さあ国労へ」

国労  
東日本

## 第34回定期大会開催!

### 新型コロナ禍のなかでも 組織拡大の報告が続々と

国労東日本本部は、10月10日に第34回定期大会を、東京・交通ビルにおいて開催しました。

新型コロナ禍が収まらないなか、書面開催となり（指令第13号）、9月中に各代議員に方針案や予算案などを送付し、意見・質問を受け、最終的には集約答弁を返す形で各議題に対する審議を進めました。大会当日は議長・副議長・議運など最低限必要な代議員が参加し、代表してそれぞれの議題に対し集約された表決に基づき賛否を確認した結果、賛成多数により新たな方針を確立し、大会は終了しました。（今号は、大会特集号【その1】として報告します）



議長  
神奈川・粉川代議員

副議長  
新橋・高瀬代議員

大会は、渡辺副委員長の司会で始まり、大会議長には粉川代議員（東京・神奈川）が、副議長には高瀬代議員（東京・新橋）が選出され、議事に入りました。開会にあたり、大沼委員長は、4点にわたってあい

さつを行い、組織の強化・拡大、安全・安定輸送の確立、過半数代表選挙の取組み、政治課題への取り組みの強化について訴えました。議事に入り、事前に書面により各代議員とやりとりを行った運動方針案や予算案など、各議事に対する賛否について確認の上、賛成多数で承認がされました。その後、東日本委員の選出、機関紙表彰、組織拡大標語の表彰が行われ、大会宣言を採択しました。



まず課題の1点目は、最重要課題である組織の強化・拡大についてです。国鉄世代が日々再雇用に移行・退職を迎えている中で、加えてコロナ禍で会議や集まりが開催できず、組織の減少ばかりに目が行き喪失感におそわれる状況にあります。そのなかでも組織展望を切り開こうと懸命に奮闘している組合員がいることを伝えなければなりません。私たちは東労組の瓦解を受け、組織拡大のチャンスととらえました。しかし、労働組合への信頼が失墜した職場では、以前にも増して組織拡大は厳しいものとなりました。そのなかでの拡大は、加入を呼びかけた国労組合員への信頼と期待の表れ以外の何ものでもないことを証明しています。特にグループ会社に働く20代、30代の青年、女性自らが労働組合の必要性を訴え、加入を呼びかけています。「守ってもらいたいから入った訳じゃない」と言うJR世代が、自らの課題として運動をけん引している姿を、組織全体で確認し、共に支えたいと思います。

2点目は安全・安定輸送の確立と労働条件改善の取り組みについてです。JR東日本は20年度通期予想を4、180億円（連結）の赤字と発表しました。「変革2027」の実現とそのスピードアップを図らなければならないとし、各系統における効率化施策、終電の繰り上げ、定期運賃の見直しなどを発表しました。これに対し東日本本部は、グループ会社社員全体の雇用と生活を守り、また、安全とサービ



委員長挨拶 要旨  
（全文はHPに掲載）

スの低下に繋がる安易な合理化施策は認められない立場で要求を確立し、交渉と職場改善の取り組み強化を確認してきました。そのための仲間づくりを常に意識し、現場にあった工夫した取り組みが求められています。

3点目は、過半数代表者選挙の取り組みです。2018年から多くの職場で過半数組合が存在しない状況が作られました。私たちの最終目的は、過半数代表者になることではありません。働き方に関心を持つてもらい、少しでも働きやすい職場にしていくこと、その先に労働組合の必要性を感じ取ってもらい加入してもらうことが一番の目的です。今年の結果は、6事業所（+グループ会社22事業所）で代表に選出されています。グループ会社においては、次点になったプロパー社員に「1年間、自分が手本を見せるから次はお前達がやるんだぞ」と声掛けしています。

4点目は政治課題についてです。9月16日、安倍政権を引き継ぐとした菅義偉氏が第99代総理大臣に指名されました。安倍政権の7年8ヶ月は、憲法9条に自衛隊を明記することに執念を燃やし、安全保障関連法や共謀罪法を成立させ、戦争の出来る国づくりを進めてきました。また、大企業や富裕層を優遇し、正規雇用を非正規雇用で置き換え、貧困と格差の拡大を進めてきました。わたしたち東日本本部は、引き続き、護憲、人権、平和、環境を守る政治勢力の拡大に向けた各種選挙戦の取り組みと、各地での護憲・平和運動に積極的に参加してまいります。

結びに、組織の展望を切り開くための環境作りは着実に前進しています。後は、職場が抱える問題を仲間と一緒に考え、悩み、職場改善の取り組みを通して国労への信頼を広げる運動作りになります。成果や教訓、経験をお互いが学び合える真摯な討論を、各代議員の皆さんに要請し、執行委員会を代表しての挨拶にさせていただきます。

